

編集後記

「ジャパン・パッシング」や「日本市場の地盤沈下」が長年指摘される中、東京証券取引所は、2015年の「コーポレートガバナンス・コード」の策定、2022年の「市場区分見直し」に続き、2023年にはPBR 1倍割れ改善を含む「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」を要請するなど、様々な変革に取り組んでいる。このような中で、市場関係者の注目を集める話題の一つに、「TOPIX改革」が挙げられる。

TOPIXは、少なくとも日本の機関投資家の

間では、日本株ベンチマークのデファクト・スタンダードであるが、組入銘柄数の多さや過去30年にわたるリターンの低さなど、指摘される課題も多い。そこで、今月は特集テーマを「TOPIX改革は十分か？」とし、ベンチマークのあり方を議論した。現在、流通株式時価総額が100億円に満たない銘柄のTOPIXウエイトを引下げ・除外しつつあるが、これで十分なのか。TOPIXのさらなる改善余地や多様なベンチマークの使い分け方など、今月号の特集から得られる示唆は多いと感じる。 (伊藤敬介)

読者の声

今後取り上げてほしいテーマ・執筆者等、当誌のより充実した企画・編集のため、ご感想・ご意見・ご要望等をお寄せ下さい。(証券アナリストジャーナル編集担当あて)



公益社団法人日本証券アナリスト協会へのご意見・お問い合わせ先ご案内 (E-mail)

◇総務・会員	member@saa.or.jp	◇調査・出版	
◇受講・受験		・ジャーナル編集	journal@saa.or.jp …当誌ご購入、ご投稿、広告掲載など
・CMA、CCMA	education@saa.or.jp	・セミナー・講演会	seminar@saa.or.jp
・CIIA(国際資格試験)	ciia@saa.or.jp	・刊行物	tosho@saa.or.jp
・PB受験手続き	p-pb@saa.or.jp	◇情報事業	
・基礎講座	kiso@saa.or.jp	・IRミーティング	k-kaisai@saa.or.jp
・スクーリング	suryo@saa.or.jp	・IRセミナー	i-kaisai@saa.or.jp
・アナリスト協会へのご意見	jouho@saa.or.jp	◇大阪事務所	s-osaka@saa.or.jp
FAX 03-3666-5843	(会社説明会関係)03-3666-6610	URL	https://www.saa.or.jp/

証券アナリストジャーナル、国際公認投資アナリスト、SAAJ、CMA、CCMA、ACIIAは公益社団法人日本証券アナリスト協会の登録商標です。またCIIAはThe Association of Certified International Investment Analystsの登録商標です。

証券アナリストジャーナル® 2024年2月号 第62巻第2号 2024年2月1日発行

本誌は会員への継続学習・情報提供のために発行しており、発行費用は会費により賄われています。(本誌掲載記事は無断転載・複製を禁じます)

発行所 公益社団法人 日本証券アナリスト協会 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1

編集人 加藤 康之

発行人 神津 多可思

印刷所 株式会社 太平社 東京都墨田区両国2-4-8